

三面地域 まちづくり通信

三面地域まちづくり協議会

発行日 平成 25 年 11 月 15 日

E-mail: as.shinko-chiiki@city.murakami.lg.jp

URL (ホームページ) http://www.city.murakami.lg.jp/

Vol.4

ハイライト

- ・先進地視察研修に行ってきました。
- ・集落活性化支援助成金事業を紹介します。

新年のごあいさつ

謹んで新春のお喜びを申し上げます。
さて三面地域まちづくり協議会も発足して2年が経過しようとしています。この間、地域や集落の事業に携わり、地域とともに活性化することを目指し、実現もして参りました。環境クリーン作戦や大運動会などで多種多様にわたり活動範囲を広げて参りましたが、自分たちが誇りをもってまちづくりをし、コンセプトやストーリー性を持ち、方法論よりも信念や原則を貫く重要性についてはまだ道筋が安定していない部分が多々あるかもしれません。今後とも役員一同みなさまのご要望やご意見を聞きながら、より良い三面地域のまちづくりを行い、誰でも気軽に参加できる魅力のある「まちづくり」を展開していきたいと思っております。なにとぞ今後とも温かいご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます



三面地域まちづくり協議会 会長 本間進二

先進地視察に行ってきました！

平成 25 年 11 月 17 日 (日) に長岡市の農家レストラン&直売所「すがばたけ」と十日町市の道の駅「瀬替えの郷せんだ」を視察しました。それぞれ地域の産物を生かしたレストランと直売所を運営しており、今後の三面地域まちづくりの参考となるものでした。

特にすがばたけでは田舎の親類村代表の原さんから設立の経緯やレストランで提供する食材へのこだわり、また農業経営など生の声を聞くことができました。



菅畑からの眺め。奥は守門岳

田舎の親類村代表 原さん

□視察研修に参加して (中新保 高橋章平)

国道 290 号の「道の駅とちお」から 5～6 分曲がりくねった坂道を登ると小高い丘の上。まわりは遠くに山々、目の前には田園が広がっている。今回の研修視察先である「農家レストランすがばたけ」が目に入った。さほど広くない敷地に平屋の建物、中に入ると農産物が並んでいる。奥には食堂があり、スタッフが準備中でした。直売所には野菜、米、山菜の他お菓子や惣菜など加工品を開発し販売しているとのことでした。レストランではにいがた地鶏虎千代鶏を使用したメニューを提供していて、私たちが昼食にそのにいがた地鶏の入った温かい汁につけて食べるそばをいただきました。菅畑で真心込めて作られた食材の料理を堪能できました。



その後十日町市中仙田にある「道の駅瀬替えの郷せんだ」を視察しました。ここでも直売所や「食事処ながせ」など川西産コシヒカリのおにぎりや焼肉丼がお勧めだそうです。またひょうたんやカラクリ枕なども販売されていました。当日は天候も良く参加者 13 名それぞれにこれからの三面地域の活性化に向けてつながりを深めました。



道の駅瀬替えの郷せんだでは、直売所の一角に地元の方のために日用雑貨も販売されていました。

集落活性化支援助成金事業を紹介します

協議会では、三面地域内の集落、複数の集落の連合体及び集落内で活動する団体が行う市民協働のまちづくりを推進する事業に対し支援を行っています。助成金の額は事業費の2分の1、上限50,000円とし、協議会予算の範囲内で助成しています。今年度は10集落17事業に対し助成金を交付することとしています。

集落活性化支援助成金事業一覧

集 落	事 業 内 容	金 額
岩 崩	世代交流運動会 (8月25日) 公民館前広場で運動会を実施。終了後バーベキューにより世代交流を深めた。	円 35,000
	区敬老会 (9月15日) 婦人会、役員により祝賀会を開催	30,000
荃 太	盆踊り櫓作製 (~8月14日) 千縄区と協力して盆踊りの櫓作製	50,000
千 縄	盆踊り櫓作製 (~8月14日) 荃太区と協力して盆踊りの櫓作製	50,000
新 屋	ニジマスのつかみ取り大会 (8月11日) 三面川に網を張った生簀でのニジマスのつかみ取りとバーベキューを実施	20,000
	親睦日帰り研修旅行 (10月13日) 仙台方面への研修旅行を実施	50,000
中新保	農業収穫祭 (10月20日) 農業の話聞きながら収穫した新米や野菜で料理を作り収穫に感謝する。	28,000
	古文書整理事業 (~2月28日) H24に解説した古文書の追加調査	15,000
堀 野	納涼祭 (8月10日) バーベキューや花火など実施	19,000
	斉の神 (1月19日予定) 斉の神を祭って無病息災を祈願する。	5,000
石 住	集落旅行 (7月14日) 粟島への研修旅行を実施	50,000
	どんど焼き (1月19日予定) どんど焼きとお楽しみ会の実施。	8,000
上中島	地藏様まつり (7月23日) 模擬店による縁日を実施	10,000
	どんど焼き (1月12日) どんど焼きと豚汁等の提供	20,000
布 部	地藏様まつり (7月23日) 竹燈籠の制作・設置と模擬店による縁日を実施	50,000
	どんど焼き (1月12日) どんど焼きとお神酒や豚汁を振る舞う。	50,000
猿 田	ホタル増殖計画 (~8月25日) ホタルが生息している水路の泥を上げ、砂利を敷いてホタルの増殖を図る。	25,000
10 集落	17 事業	515,000

※金額欄は交付決定額です。実績報告により金額が確定します。

□岩崩世代交流運動会

8月25日防災訓練終了後、公民館前の広場において、集落住民約40人が参加して運動会を行いました。小さい子どもからお年寄りまで入り交ざって競技を行いました。その後バーベキューをし、世代交流を深め有意義な1日を過ごしました。



□岩崩敬老会

集落公民館に敬老者を招待し会食を取りながら集落の昔話を聞いたり、カラオケをして楽しく1日を過ごしました。



□荃太・千縄盆踊り櫓作製

毎年、お盆の14日に千縄・荃太集落が一体となって、盆踊り大会を開催しています。櫓が古くなり危険なため新しく作製し、座元が安心して演奏できるようにしました。お披露目となった新しい櫓も好評で盆踊りは大いに盛り上がりしました。



9月8日に行った三面地域大運動会のもちまきに、今回荃太・千縄集落で作製した櫓のお披露目を兼ねて使わせていただく予定でしたが、雨のため運動会は荃太体育館での開催となり使えませんでした。残念、またの機会に！

□新屋ニジマスつかみ取り大会

豊かな自然にふれあうことで青少年の健全育成につなげようとニジマスのつかみ取り大会を行いました。集落協の三面川に網を張って生簀をつくり、約120匹のニジマスを放しました。子どもたちが採ったニジマスは塩焼きにするなどして、参加者みんなでおいしい昼食会となりました。



□新屋親睦日帰り研修旅行

婦人会の解散、消防団の人数不足などで公民館活動も危ぶまれる中、今春実施したアンケートに基づきバスツアーを行いました。49人の参加があり、にこやかに談笑する姿がみられ、集落の老若男女が元気を取り戻した1日となりました。



□中新保農業収穫祭

今年収穫された新米や野菜を利用し、おにぎりや味噌汁を作って振る舞いました。農業従事者から栽培の苦労話を聞きながら、世代間のふれあいの場となりました。



□堀野納涼祭

大人から子どもまで集落住民が集うことを目的とし、納涼祭を行いました。バーベキューと花火には帰省中の方の参加もあり、それぞれ古里の良さや他の地方の話が聞け、見聞を広げることができました。



□石住集落旅行

昨年の山形方面への研修旅行につづき、今年は粟島に研修に行ってきました。粟島では島民の暮らしや地域活性化の努力を感じることができました。この旅行を通じ集落住民の親睦と親子のふれあい、そして子どもの夏の思い出をつくることができました。



□上中島地蔵様

毎年7月23日に子どもたちが地蔵様の掃除をしたり、飾りつけをして地蔵様まつりを行っています。年々子どもの数が減っている中PTAを中心に綿あめ、焼きそば、チョコバナナなどの模擬店を出店し、子どもたちやお参りに来られた方を楽しませました。



□布部地蔵様

小学校児童が主体となり地蔵様周辺の清掃や草むしり、飾りつけを行いました。また初めての試みとして地蔵堂周辺に竹燈籠を設置することとし、6月に布部子どもみこし会員と集落ボランティアで竹燈籠をつくりました。当日は約100人の参加があり、焼きそば、かき氷、水ヨーヨーなどの縁日に無料で振る舞い、竹燈籠で幻想的な雰囲気をつくりだしました。



□猿田ホタルの増殖計画

猿田にもホタルが生息していますが、かつての満天の星のような数ではありません。水路の泥上げを行い、土止め材で水路への泥の流入を防ぎ、水路に砂利を敷き環境整備を行いました。来年には多くのホタルが飛んでほしいと願いを込め整備しました。



三面地域まちづくり協議会は、地域の個性や魅力を生かし、みなさんが本当に「ここに住み続けたい」「住んで良かった」と思える地域にするために活動しています。まずは協議会の活動が多くの人に知られることが目標です。

このコーナーでは各集落のお宝や名人、伝統などなど集落自慢を紹介しします。今回は千縄区と堀野区です。

◇千縄区の公民館活動

千縄集落は、三面川のすぐ横にある公民館で様々な活動を行っています。1月には、さいの神、麻雀大会。さいの神には、温かい甘酒と玉こんを振る舞っています。4月には、グラウンド横で花見。6月に開催した敬老会では、カラオケやゲーム、婦人部の踊りなどで楽しい1日を過ごしました。10月は、大運動会を行い、お年寄りも参加する縄ぬい競争では盛り上がっています。今後も住民の方々の協力のもとに活動していきたいと思ひます。

(千縄 田村吉雄)



◇堀野区は小さいからこそ

堀野では毎年8月のお盆前に納涼会を行っています。中堅世代が中心となり準備を進め、夕方になるとカキ、鮎、サザエ等を焼く香りが漂い、各家々から老若男女が集まりみんなでジョッキを掲げ乾杯。県外で仕事をしていた方や親戚の方も一緒に夜が更けるまで歓談し、夏の夜を楽しんでいます。また一時途絶えていた斎の神も8年前から復活しました。年に2回の行事ですが、小さいからこそみんなで助け合い楽しい集落になるよう頑張っています。

(堀野 貝沼実)



私の集落には「こんなものがある」「こんなところがある」「おもしろい人がある」など何でもかまいません。みなさんからの情報をお待ちしています。

千縄…地名の起こりは、葦太との間の交通が、千本の縄によつたところからと言われる。むかしは吊橋があつたが、その前は徒歩で三面川をこの縄につかまって渡つたと言われる。むかしの千縄のまたぎの狩獵山が岩井沢洞窟から石黒山にかけての地である。岩井沢をさかのぼり股の手前が太夫岩屋、太夫の烏帽子に似ているところから太夫岩屋の名がついた。西俣の左岸の地、幅30m、高さ15mの一大岩に左右2つの洞窟を持つのが長者岩屋、それから10m北方の人工的な中世の洞窟があり、直下2mから横穴になる山賊の棲家という洞窟があり、さらに50m北方にあるのが猿岩屋である。さらに3kmはなれたところに八艘岩屋がある。

堀野…元和4年(1618)堀丹後守直奇が城主となつたとき、家臣2人を置いて開拓した村と言われている通り、慶長2年の瀬波郡絵図には記されていない。楯のうち村とも言われる。この村の開祖は貝沼仁左右衛門、作左工門と言われ、その分家に仁右工門と作之丞が出た。石住の枝村である。

(昭和55年発行 朝日村史より)

協議会からのお知らせ

平成24年4月から活動を始めた協議会も、間もなく2年が経過します。協議会役員の任期は2年ですので、今年役員改選となります。(※ただし再任を妨げるものではありません)これに際し、まちづくりに興味のある方、私も参加したいという方など、協議会役員または事務局までご連絡ください。一緒により良い三面地域にしましょう!



編集後記

三面地域まちづくり協議会も設立から早いもので2年が過ぎようとしています。協議会の仲間に入れてもらい話し合いを通して役員のみなさんとつながりができました。事業をするにも計画を立て事業が無事終了するまでに細かい準備と大変な労力を必要とします。事業が終わり、みなさんから「よかったよ!」と声をかけてもらうと、またまた人と人とのつながりができたのだと思ひました。強いつながりで1人1人が地域のことを考え、知恵を出し合い協力し合うことにより“定住の里づくり”ができるのではないかと思います。これからもまちづくり協議会は、三面地域がにぎやかに、元気なまちをめざし活動は続きますので、みなさまのご支援とご協力をよろしくお願ひいたします。

(布部 佐藤幸子)